

第59回全国スポーツ推進委員研究協議会

- 1 期 日 平成30年11月15日(木)～16日(金)
- 2 会 場 1日目<開会式、表彰式、講演、シンポジウム>
・鹿児島アリーナ メインアリーナ
2日目<分科会>
・【第1分科会】鹿児島アリーナ メインアリーナ
・【第2分科会】鹿児島市民文化ホール 第1ホール
・【第3分科会】鹿児島市民文化ホール 市民ホール
・【第4分科会】鹿児島市民文化ホール 第2ホール
- 3 主 催 スポーツ庁、公益社団法人全国スポーツ推進委員連合、
鹿児島県スポーツ推進委員協議会、鹿児島県教育委員会、鹿児島市教育委員会
- 4 主 管 第59回全国スポーツ推進委員研究協議会鹿児島県実行委員会
- 5 後 援 鹿児島県、鹿児島市
- 6 大会テーマ 「スポーツの力で輝く未来！」
～明治維新150周年！スポーツに新たな風を鹿児島から～

【1日目：11月15日(木)】

- 7 歓迎アトラクション(鹿児島実業高等学校新体操部 男・女) 12:00～

全国から集まってくるスポーツ推進委員の方々を、昭和56年に創部され、県大会32年連続優勝を果たすなど輝かしい成績をもつ鹿児島実業高等学校男子新体操部員が流行の曲にのせてコミカルな演技で迎えてくれた。鹿児島市の依頼で「西郷どん」×「男子新体操」という異色のコラボレーション動画「維新 dancin' 鹿児島市」では、西郷どんに扮して華麗な舞を披露している。鹿児島県関連の動画再生回数も圧倒的回数を誇っている。

- 8 開会式 12:30～13:10
 - ①開会のことば 鹿児島県実行委員会委員長 大黒田 博
 - ②あいさつ スポーツ庁審議官 藤江 陽子
公益社団法人全国スポーツ推進委員連合会長 齊藤斗志二
 - ③歓迎のことば 鹿児島県知事 三反園 訓
鹿児島市長 森 博幸
 - ④登壇者紹介
 - ⑤次期開催地挨拶 三重県スポーツ推進委員協議会会長 馬場 宏

表彰式 13:10～13:40 (富山県受賞者17名・1団体)

- ①文部科学大臣表彰 南 和江(砺波市)
- ②全国スポーツ推進委員連合表彰
 - ・優良団体表彰 滑川市スポーツ推進委員協議会
 - ・スポーツ推進委員功労者表彰 北村勢津子(富山市) 紙谷 孝之(黒部市)
福江 清美(小矢部市)
岡島 幸子(富山市) 秋濃 作二(富山市)
田中 勉(富山市) 村田 秀幸(富山市)
宮口 隆志(魚津市) 池原 純一(入善町)
 - ・30年勤続表彰

第59回全国スポーツ推進委員研究協議会

- 1 期 日 平成30年11月15日(木)～16日(金)
- 2 会 場 1日目<開会式、表彰式、講演、シンポジウム>
・鹿児島アリーナ メインアリーナ
2日目<分科会>
・【第1分科会】鹿児島アリーナ メインアリーナ
・【第2分科会】鹿児島市民文化ホール 第1ホール
・【第3分科会】鹿児島市民文化ホール 市民ホール
・【第4分科会】鹿児島市民文化ホール 第2ホール
- 3 主 催 スポーツ庁、公益社団法人全国スポーツ推進委員連合、
鹿児島県スポーツ推進委員協議会、鹿児島県教育委員会、鹿児島市教育委員会
- 4 主 管 第59回全国スポーツ推進委員研究協議会鹿児島県実行委員会
- 5 後 援 鹿児島県、鹿児島市
- 6 大会テーマ 「スポーツの力で輝く未来！」
～明治維新150周年！スポーツに新たな風を鹿児島から～

【1日目：11月15日(木)】

- 7 歓迎アトラクション(鹿児島実業高等学校新体操部 男・女) 12:00～

全国から集まってくるスポーツ推進委員の方々を、昭和56年に創部され、県大会32年連続優勝を果たすなど輝かしい成績をもつ鹿児島実業高等学校男子新体操部員が流行の曲にのせてコミカルな演技で迎えてくれた。鹿児島市の依頼で「西郷どん」×「男子新体操」という異色のコラボレーション動画「維新 dancin' 鹿児島市」では、西郷どんに扮して華麗な舞を披露している。鹿児島県関連の動画再生回数も圧倒的回数を誇っている。

- 8 開会式 12:30～13:10
 - ①開会のことば 鹿児島県実行委員会委員長 大黒田 博
 - ②あいさつ スポーツ庁審議官 藤江 陽子
公益社団法人全国スポーツ推進委員連合会長 齊藤斗志二
 - ③歓迎のことば 鹿児島県知事 三反園 訓
鹿児島市長 森 博幸
 - ④登壇者紹介
 - ⑤次期開催地挨拶 三重県スポーツ推進委員協議会会長 馬場 宏

表彰式 13:10～13:40 (富山県受賞者17名・1団体)

- ①文部科学大臣表彰 南 和江(砺波市)
- ②全国スポーツ推進委員連合表彰
 - ・優良団体表彰 滑川市スポーツ推進委員協議会
 - ・スポーツ推進委員功労者表彰 北村勢津子(富山市) 紙谷 孝之(黒部市)
福江 清美(小矢部市)
岡島 幸子(富山市) 秋濃 作二(富山市)
田中 勉(富山市) 村田 秀幸(富山市)
宮口 隆志(魚津市) 池原 純一(入善町)
 - ・30年勤続表彰

③全国スポーツ推進委員連合感謝状贈呈
・賛助会

西村 良三 (氷見市)	高橋 清 (射水市)
山田 純一 (砺波市)	松本 博資 (黒部市)
中谷 有秀 (南砺市)	池原 純一 (入善町)
新田 敏雄 (朝日町)	



9 記念講演 13:40～15:00 (写真撮影禁止)

講師 柴田 亜衣 (しばた あい) アテネオリンピック金メダリスト/スイミングアドバイザー
テーマ 「水泳と私」

柴田氏が、水泳を始めた3歳の頃からアテネオリンピック800m自由形で金メダルに輝くまでのことを時系列に講演された。

水泳を始めたのは、母親が自分の水泳をする時間を確保するために姉と一緒にスイミングスクールに入れられた3歳の時であった。柴田氏は「進級バッジ集め」や「試合でベストタイムを出す」等、その時その年代に応じた目標を立て達成することを繰り返して成長していった。小学5年生の時に仕事から転勤が多い父親と一緒に転校するか、父親に単身赴任してもらうかを家族で話し合った。柴田氏は高校3年生まで水泳を続けたい(転勤先にスイミングスクールがないかもしれないと考えた)ので、父親に単身赴任してもらうように頼んだことで、「全国大会に出場する」というこれまでになく大きな目標を掲げた。中学2年生で全国大会に出場したが、中学3年生では出場できずに挫折する。しかし、この約束があったから水泳をやめずに続けることになった。負けず嫌いな性格もあり、朝2時間と夕方2時間の猛練習に取り組んだ。結果、高校3年生になった頃には父親との約束とは別に大学進学を希望するようになり、鹿屋体育大学推薦入学の条件である「インターハイ5位入賞」を目標を立て、これも達成した。大学に進学すると自分から100%水泳に向き合えるようになったと感じる程、ラップタイム等さらに細かい練習目標を立て取り組んだ。大学2年生の時に日本で世界選手権大会が開催された機会に開催国枠で日本代表として出場した。大学3年生では正式に日本代表として、世界選手権大会に出場したが予選落ちし、目の前で北島康介氏が世界記録で金メダルを獲得するのをスタンドから見て「オリンピックに出場しベストタイムで泳ぐ」が目標になった。オリンピックイヤーの大学4年生では、監督から「あわてず・あせらず・あきらめず」の言葉をもらい、日本選手権大会2位でアテネオリンピック出場を決めた。400m自由形ではメダルに届かなかったが自己ベストタイムで泳ぐことができた。800m自由形では「あわてず・あせらず・あきらめず」を呪文のように唱えながらラスト10mでそれまでトップを泳いでいた選手を追い抜き見事金メダルに輝いた。

柴田氏は水泳を通して得たものとして、以下の3点を挙げて講演をまとめた。

「①目標を持つことの大切さ。②他人と比較しない。③好きな気持ちをもつ。」

10 シンポジウム 15:20～16:40

テーマ 「スポーツで輝く未来に向けて」

～スポーツで創る強い絆と活力ある地域社会づくりを目指して～

コーディネーター	筑波大学体育系	教授	柳沢 和雄
シンポジスト	早稲田大学スポーツ科学学術院	教授	作野 誠一
シンポジスト	NPO法人日本健康加齢推進機構	理事	小澤多賀子
シンポジスト	立命館大学産業社会部	教授	金山 千広
シンポジスト	拓殖大学商学部	准教授	松橋 崇史

スポーツの力で楽しく前向きで活力のある社会と絆の強い世界を創るポイントとして、作野教授は4C（コラボレーション、コーディネーション、コミュニケーション、カウンセリング）を、小澤理事は健康寿命延伸の三本柱「運動、栄養、コミュニケーション社会活動」を、金山教授は総合型地域スポーツクラブに障がい者が加入することで新しい教室が生れやすいことを、松橋准教授は観光資源を利用したスポーツツーリズムを提言された。



<富山県表彰伝達式・情報交換会> 18:30～20:30
会場：パレスイン鹿児島



【2日目：11月16（金）】

11 分科会 9：30～11：30（第1～4分科会）

【第1分科会】 鹿児島アリーナ

テーマ：「スポーツで輝く未来を楽しく！」

～地域の課題を解決するスポーツクラブの実現を目指して～

コーディネーター：早稲田大学スポーツ科学学術院

教授

作野 誠一

発表者：鹿児島県・NPO 法人 SCC

理事長

太田 敬介

長野県・一般社団法人たかぎスポーツクラブ

理事・クラブマネジャー

上杉 健太

埼玉県・一般社団法人ふじみ野ふあいぶるクラブ

理事長

篠島 幹昌

多様な人々が主体的・継続的に様々なスポーツ活動に取り組むことは、地域の一体感や活力を醸成する力を持っている。会員数の85%が陸上教室に登録していること、学習室やバーベキュー設備など充実した施設を有していること、東京都のベッドタウンとして未だ人口が増えていることなど、3つのスポーツクラブの特色等が紹介された。今後さらに、強い絆で結ばれ活力のある地域社会づくりを目指すために、スポーツ推進委員がお互いの役割を明確にして協力し合い、より良いスポーツ環境を作り上げていく必要がある。



【第2分科会】 鹿児島市民文化ホール 第1ホール

テーマ：「スポーツで輝く未来を元気に！」

～健康で生き生きと暮らせる長寿社会の実現を目指して～

コーディネーター：NPO法人日本健康加齢推進機構

理事

小澤多賀子

発表者：鹿児島県・鹿屋体育大学スポーツ生命科学系

教授

中垣内真樹

長崎県・長崎市スポーツ推進委員協議会

会長

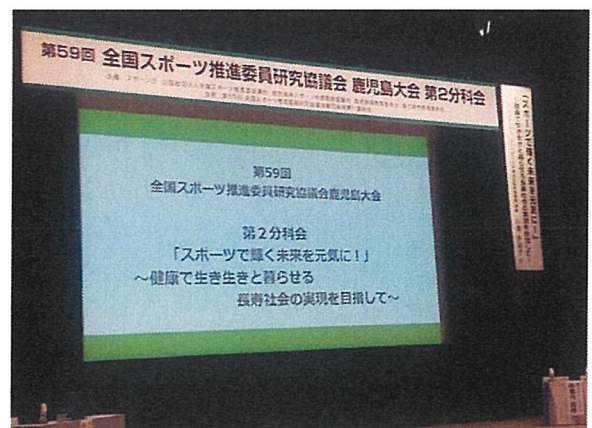
宮崎 武洋

茨城県・みなと waiwai クラブ

クラブマネジャー

吉村 孝子

健康で活力に満ちた長寿社会を実現するためには、生活習慣病の予防・改善や介護予防を通じた健康寿命の延伸、社会全体で医療費の抑制を目指すしなければならない。地域住民のスポーツへの関心を喚起し、スポーツが生活の一部となるよう習慣化するために、誰でも身近に気軽に参加できるスポーツへのアプローチの仕方が求められている。鹿屋体育大学では、認知症予防として、“歩く脳トレ運動”スクエアステップの取り組みと共に、これからの介護予防は地域コミュニティによる住民同士の支え合いが不可欠であると提案された。長崎市スポーツ推進委員協議会からは、多



世代対象に体力測定会やマラソン大会を実施していること、みなと waiwai クラブからは、60代以上の高齢会員が半数を占め、会員が自らの教室のスタッフとしても活動し、誰もが参加しやすく笑顔あふれる楽しい交流の場を作っていることが報告された。

【第3分科会】 鹿児島市民文化ホール 市民ホール

テーマ：「スポーツで輝く未来を笑顔に！」

～障害者と健常者が共に実践できる生涯スポーツを目指して～

コーディネーター：立命館大学産業社会部

教授

金山 千広

発表者：鹿児島県・社会福祉法人鹿児島県身体障害者福祉協会

スポーツ情報課長

前田 究

宮崎県・延岡市スポーツ推進委員協議会

会長

岡本真奈美

福岡県・NPO 法人ウェブスポーツクラブ 21 西国分

クラブマネジャー

櫻木 英一

鹿児島県身体障害者福祉協会の前田氏の発表では、自らが交通事故に遭い、車いす生活となった経緯や、障害者スポーツとして車いすマラソンに取組んだことが「生きる力」になったと熱く語られ、障害者スポーツの魅力や大切さについて深く理解することができた。また、延岡市スポーツ推進委員協議会の岡本氏、NPO法人 ウェブスポーツクラブ 21 西国分の櫻木氏の発表からは、障害の有無に関わらず一緒にスポーツを楽しむことの大切さや、障害者スポーツの推進にスポーツ推進委員の力が期待されていることを知ることができ、大変充実した部会となった。



障害者のスポーツ実施率は健常者に比べて低い。実施率を向上させ障害者の生活の質を高めるためには、スポーツを実施してもらえ場の提供だけでなく、その活動を支えるスタッフの充実が必要であり、スポーツ推進委員がその重要な役割を担っていくことになる。

【第4分科会】 鹿児島市民文化ホール 第2ホール

テーマ：「スポーツで輝く未来を明るく！」

～スポーツと観光が結びついた地域の活性化を目指して～

コーディネーター：拓殖大学商学部

准教授

松橋 崇史

発表者：愛媛県・企画振興部政策企画局

サイクリング普及調整監

坂本 大蔵

山口県・宇部市スポーツコミッション事務局

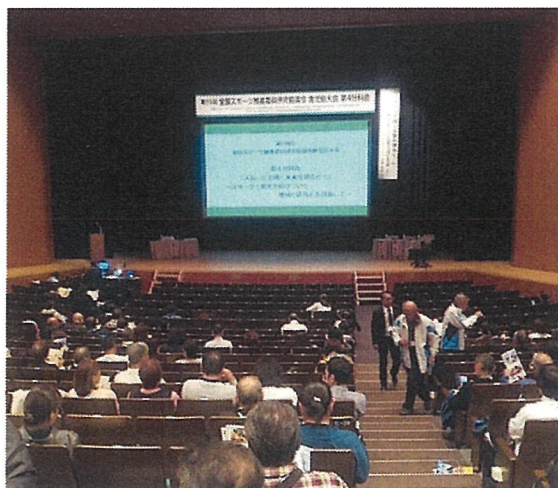
森 朋子

鹿児島県・いぶすき菜の花マラソン大会実行委員会

副実行委員長

別府 竜人

スポーツを通じた地域活性化を推進するためには、スポーツ産業の活性化、スポーツ環境の充実、そして、スポーツ人口参画の拡大をつなげていくことが必要で、地域の特性を活かしたスポーツ観光による地域活性化の可能性に向けた取り組みが紹介された。愛媛県では自転車で行くことができる「しまなみ海道」、宇部市では「日本の都市公園100選」等に選ばれた「ときわ公園」、指宿市では温暖な気候と温泉、充実した宿泊施設、そして豊富な観光資源（池田湖、開聞岳、長崎鼻など）を一回りすると42kmぐらいというところに着目した。スポーツツーリズムや多数の参加者・観衆が見込めるスポーツイベント等スポーツを核とした地域活性化に向けた取り組みを推進することが求められている。



※研究協議会には全国から約3,500名、富山県からはスポーツ推進委員及び市町行政担当者あわせて91名の参加があった。